

自己評価及び第三者評価結果

事業所番号	0194600458		
法人名	日総ふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	ふれあいの里 グループホームおびひろ緑ヶ丘 1、2F		
所在地	帯広市緑ヶ丘8丁目1-24		
評価方法	運営推進会議		
評価作成日	2025/1/27	評価結果市町村受理日	2025/1/28

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

№	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A 充分にできている	理念にある、安全・安心の暮らしが実現できるように、それぞれの考える「安全・安心な生活」を考えて入居者様に寄り添いながら実践している			
			O B ほぼできている				
			C あまりできていない				
			D ほとんどできていない				
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A 充分にできている	町内会に加入し、清掃活動の行事には積極的に参加しました。事業所内の職員不足や入居者様の活動時間帯が合わずに、町内会行事への参加は出来ていませんでした。今後は交流や働きかけの方法を現実的な方法へシフトし、事業所への理解を深めるための広報の回覧やブログ等でも情報発信していきます。	数名の入居者様と関係者様が草刈りに参加していただけてありがとうございました。時間の関係で焼肉の方は参加していただけなかったのが残念です。来年もお天気が良ければ参加していただきたいと思います。		
			B ほぼできている				
			O C あまりできていない				
			D ほとんどできていない				
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A 充分にできている	2ヶ月毎に運営推進会議を開催しております。町内会長様、民生委員様、地域包括の担当者様、ご家族様に参加して頂き、各フロアの様子や、職員の状況等を報告しております。オンライン併用のハイブリット開催としております。頂いたご質問には耳を傾け、日々のケアの向上に努めて取り組んでいます。	定期的に運営推進会議が開催されています。地域の方の参加や、対面で会議の開催ができるようになってきた現在も、遠方にお住いのご家族にもオンラインで参加をしてもらえるように配慮がされています。会議で聞かれた意見について、日々の業務に生かすことができるように努めています。		
			O B ほぼできている				
			C あまりできていない				
			D ほとんどできていない				
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A 充分にできている	関係機関からのメール等は常にチェックし、迅速には必ず目を通しています。介護高齢福祉課、地域福祉課には訪れる機会もあり、相談等もしやすい関係を築いています。	介護保険法の改訂、通達等、変更点、加算の読み解きなど、積極的に質問・相談するなどしています。		
			O B ほぼできている				
			C あまりできていない				
			D ほとんどできていない				
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A 充分にできている	事業所内で不適切ケア防止委員会を設置し、定期的な会議・研修を行ない、より良いケアを実現できるよう活動しています。委員や職員からの事例発表や予防・防止に関する取組を月1回ミーティング時に行い、事業所としての方向性を提案しています。委員会後には議事録を作成し、全職員へ周知しています。		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	昨年同様、身体的な拘束は全くありません。対応的拘束として、一部職員の入居者に対する行動を抑制するような声かけも昨年に比べると改善したように感じます。研修や指導の成果を感じます。
			O B ほぼできている				
			C あまりできていない				
			D ほとんどできていない				
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A 充分にできている	虐待が起こりうる可能性があることを自覚し、虐待や不適切なケアを行わないように内部研修、外部研修に参加し知識を深めています。当日参加できなかった職員には、後日、資料を配布しております。不適切な事例があった場合には個別に話し合いの場を持ち原因と今後の対応等話し合いをしています。		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	研修や指導により虐待防止についての意識づけがしっかりできてきていると感じます。研修の内容についても、動画などよりイメージしやすいものを利用しているところが理解を深められている理由の一つだと感じました。
			O B ほぼできている				
			C あまりできていない				
			D ほとんどできていない				
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	A 充分にできている	成年後見制度を利用していた入居者様が退居後はなかなか機会が設けられていません。管理者は研修等で学びを深めています。職員への発信ができていませんでした。			
			B ほぼできている				
			C あまりできていない				
			O D ほとんどできていない				

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時には十分に時間をかけて説明を行っています。疑問点がないように、ご家族へ確認しています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の要望等は、御家族が未読された時や電話で伝えて相談しています。また、ご家族からの要望は、ホーム側から聞き取りシートや意見箱等で聞き取るようにし、改善できる部分は速やかに対応しています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日頃から利用者は思ったことを自由に表出している様子で、ご家族とも管理者が密に連絡を取っていることで、直に意見を伝えやすいのかもしれないと感じました。可能な限り意見を反映していると思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員会議や議案書で意見集約したり、日常的に提案が上がってくる機会があります。職員会議で検討した内容は全職員へ周知しながら実施しています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人として、働く環境の整備・業務改善・スキルアップ制度等の設立等、全職員が心身健康に向上心を持って働く事ができるよう、職場環境や雇用条件の整備に日々努めています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	他事業所に比べて職員の定着率がいいように感じます。働きやすい環境整備が出来ていると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職種や経験に応じた年間研修計画があり実施しています。法人内で資格取得制度があり、向上心のある職員には、スキルアップのため制度を利用するよう、促しています。昨年度は制度利用により、1名初任者研修を受けています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の向上心には個人差があり、それを見極めながらスキルアップを促しているそうです。他事業所も同じですが、意欲の無い職員に対するスキルアップの促しが課題と思われるます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各種役職や立場に応じた研修会参加等により、ディスカッションや意見交換を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活を共に築くために、家事や清掃についても職員と共にしながら、時には入居者様から学ばせていただき、一方的な関係にならないように配慮しています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	できるだけ馴染みの方々が会いに来て頂けるようお願いしています。入居者様の多くはご親族やご友人などの面会が時々あり、感染対策に配慮し実施しております。また、オンラインでの面会も定期的実施しています。	オンライン面会、家族との外出など、柔軟に対応されており、面会時には日頃の様子を聞かせていただいています。		

Ⅱ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	全員で行う大まかな日課はありますが、個々の入居者様の意向に合わせて柔軟に対応しています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々のケアの中で感じたことを、ミーティングの際に検討しております。チームとしてケアの統一を図り、議事録で確認できるようにしています。職員も介護計画の評価を担い、気付いた事を案として出してもらい計画作成時に参考にしていきます。	職員が入居者様の日常生活を促して計画作成時にケアマネージャーに伝達しながら、職員会議で介護計画の土台作りをしています。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々のケース記録から日常の状況を読み取り、課題とケアのあり方について、本人・管理者・介護職員・家族・医師らの意見も踏まえ、実現可能なケアプランを作成しています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護記録システムの活用により、関わる全職員がリアルタイムで共有しています。介護計画の確認も容易に行なっており、記録システムを活用して実践や見直しを行なっています。日々の小さな変化を捉える事が重要ですが、記録の起承転結が今後の課題です。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護記録システムの活用により、職員同士での情報共有は行えていると思います。日々の記録は変化のあった時の入力は見られますが、継続的に繋がらず途絶えている事もあり今後の課題と思われる事です。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様の要望に対しては、一日の予定にとらわれず柔軟に対応しています。買い物支援や物品購入、臨時受診等。また、ご家族様からの要望にも、柔軟に対応しています。	色々な形で外出できるのは楽しいと思います。受診対応、運動など、柔軟に対応いただいています。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	昨年度から外出支援や買い物支援、散歩等活動の場を広げてきました。今後も地域のスーパーや店舗等へ伺い、地域資源を活用しながら地域との関わりを増やしていけるよう支援していこうと思います。	買い物、散歩など、外での活動は本人も楽しんでいると思います。環境の面で困られているので嬉しいと思いますが、家庭菜園、お花があると心も体も気分転換に繋がります。良い影響になるのかなと思うところがあります。町内会の行事や、日々の散歩で地域の人と顔を合わせています。買い物にかけ、店員さんとの関わりを持っています。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	御家族と御本人の意向を聞きながら、かかりつけ医の選択をしていただき、病院との綿密な情報交換を行い関係性を保ちながら医療提供に繋がっています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様が入院された際には、病院と情報共有し、様子をうかがっています。医療機関と連携し、出来るだけ早期に退院できるよう支援しています。病状の重症化を未然に防げるよう、日々体調観察しながら、病院と情報共有しています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族が普段の本人の様子を見る事が出来ないのので、受診時に病院宛てに情報提供書を作成していただいているので助かっています。多くが協力医療機関となっている病院への入院のようですが、早めにICUをやり、病状が落ちないからホームに帰ってきて、日常生活においてリハビリを行っています。退院時には、医師から助言等をもらい、生活に役立てるようにしています。
23	重症化や終末期に向けた方針の共有と支援	重症化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時には重症化や終末期ケアの指針を説明し、理解いただいています。入居者様の状態の変化により、入居者様、ご家族の意向を踏まえ、協力医療機関と連携しながら、その人らしくホームでの生活を継続できるよう、職員教育を行っています。今年度から看取り体制加算を取得すべく、看取り研修や教育を重ね、多様なニーズにも応えられるよう、連携医療機関とも協力体制を密にしながら対応していきたいと思っています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	かかりつけ医との連携が密に行われている為、安心しています。契約の際に、終末期のケアについては、顔回にあるものではないと思いますが、職員みなさんと研修を重ね、入居者やご家族が希望された際には、良い最期を迎えられることを期待しています。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年に2回の消防訓練にて、災害対策訓練を行っています。急変対応については、心臓蘇生法等の講習会を今年度も2回開催し、緊急時の対応手順等についても訓練を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	非常災害対策計画に基づき、職員が行動できるようマニュアルがあり、それに基づいた行動が実践できるよう指導しています。年2回の防災訓練でも、様々な災害想定訓練に取り組んでいます。今年度より、災害発生後の業務継続計画を活用し、非常災害時業務継続訓練と研修を行っています。	地域包括担当者様からのご意見で、避難誘導後の外での安全確保の為、近隣住民への協力を定期的にお願ひする為に、お便り等で町内へ発信するようお願いをいたしたく。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地震、火災、停電を想定した訓練を定期的に行っている為安心してます。一方で夜間のスタッフが少ない時間帯での対策が課題のようにも思います。色々な状況を想定し、消防署員からも助言をもらうなど、想定訓練の内容を振り返ることができています。中々難しいとは思いますが、実際に災害が起きた時に支援を求めることができるよう、近隣住民や近隣の福祉施設との協力体制を検討できれば、なお良いと思います。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	人生の先輩として、尊敬し、失礼の無い接し方を心掛けています。プライドや羞恥心を傷つけないよう声掛けに配慮をしていますが、職員により個人差があることも否めません。不適切ケア委員会とも共有し、適時個々を尊重した声掛けについて発信しています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人への声掛けが優しいトーンなのが良いと思います。本人も安心していただいています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日どのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の考えや意向、趣味嗜好を伺いながら、できる限り寄り添ったケア・支援を行っています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	楽しく食事を召し上がって頂けるように、食事の席や、職員の配置に気を配っています。食事時には、好物や好きな味付けを尋ねたりしています。食後は片付け、お盆拭きの家事作業をして頂いています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	最近では入居者が協力してお菓子や料理を作ることもあり、楽しそうです。食事をおこなう際の工夫や、個々の食生活の好みに合わせた工夫、利用者様と一緒に食事前から準備を楽しむ事を積極的ににおこなっていると思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事・水分記録を確実にし、1日量の把握を行っています。食事量が不足している時には補食を検討したり、水分不足時には声掛けや促しをするよう対応しています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	口腔ケアが難しい入居者様の中には、個別で歯科医師、歯科衛生士の指導、助言を受けられています。また、職員にも指導、助言を頂き、ケアに活かしています。毎食後の口腔ケアに力を入れています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	口腔ケアの難しい入居者様の対応も歯科からの助言を活用し、しっかり職員同士情報を共有し工夫をおこないながら、毎食後口腔ケアに取り組む事ができていると思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	出来るだけトイレで排泄ができるように、支援しています。排泄のタイミングを検討し、トイレ誘導しながら排泄の自立を促しています。また、便秘予防の為下剤等併用しながら排便コントロールに日々取り組んでいます。羞恥心に配慮した介助を心掛けています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを職員同士が把握し、適時状況に合わせた誘導や対応が出来ていると思います。職員同士の声掛けがおこなえるのもとても良いと思います。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の要望を伺いながら出来る限りの要望は伺いついて対応しています。職員人数との兼ね合いもありますが最大限要望に合わせてられるよう努めています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	活動後には午睡や睡眠を促したり、休息と活動のバランスを整えながら対応しています。入眠に際しても、光や音等に配慮した環境づくりをしています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	事業所の服薬マニュアルがあり、常にダブルチェックで確認する体制を整えています。ご本人の体調や嗜好状態の変化に合わせ、医師と相談や、薬の形状見直しなど、随時検討し改善しています。誤薬対策にも重点的に取り組み、余計な工程がないか、リスクを伴う部分はどこか検討を重ねています。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	昨年よりも重大なミス(投与間違い)は少なくなったと思います。一人ひとりの薬の把握に努めており、状態に合わせた形状での服薬補助をおこなっていると思います。また服薬確認をしっかりと声にだしダブルチェックをおこなっているが、手順に慣れ作業工程が流れ作業になってしまわないよう、定期的な作業工程の再確認が必要と思われるます。	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家事等して頂いた後には感謝のこたえを必ず伝えていきます。暮らしの中に楽しみが待てるよう、個々の興味や趣味に応じて、自立支援の取り組みの一環としても家事活動・レクリエーションを行っています。それにより、不穏症状も減少している方もいます。	個々の状態にあった家事活動やレクリエーションの取り組みに積極的に取り組んでいると思います。取り組みその後の評価し、再度検討し状況に合わせた支援を行っているといます。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めています。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様単独での外出は無く、職員が意向を聞き取りながら外出支援をしています。冬期は車での外出支援となりましたが、4月以降散歩される入居者様も増えています。	職員の負担が多くなると思います。少しでも屋外に出て外の空気を感じ取れると良いかなと思います。入居者様の一人一人のニーズに合わせるのには大変だと思いますが、これから暖かい日が多くなると思うので、外出させて欲しいと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	金銭に対しての要求がない入居者様も多く、安心感を得るためや必要な方には、御家族へ紛失等の可能性も考慮される等の了承を得た上での自己管理とさせてはいただいています。また、買い物へ行った際には、ご自身で支払いしていただけるよう支援しています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	電話等の訴えが少ないこともあり、たまに家族の声がかかると話される方の対応をする程度です。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共有空間は明るくシンプルな造りで、ポイントで季節の飾りを施し、落ち着ける空間になっています。空調は24時間適切に管理していますが、全室に温湿度計を設置し、入居者様の体感に合わせて調整するようにしています。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	風邪やインフルエンザにかかることが少なくなりました。施設内は明るく、清潔が保たれています。それぞれの居室や、トイレ等も分かりやすいよう、文字で掲示されています。みなさんでフロアに集まりそれぞれがトレーニング等に取り組みながらも、穏やかな時間が流れています。感染症対策委員会で検討され、温度や湿度についても配慮がされています。	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	大まかな日課はありますが、個々の入居者様の意向に合わせて柔軟に対応しています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時に伺っている生活歴・趣味等から、その方の特性や性格を把握しながら寄り添ったケアを行っています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の健康管理、安全管理については、職員・管理者が個々の居室へ訪問し、バイタルチェック、体調確認を行っています。また、安全面でも環境整備を行いながら日々確認を行っています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	転倒が多くありましたが、対応策を講じていただき、今年度は全体的には減少したと感じます。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自立支援を行いながら、出来ない部分をフォローし、個々のペースに寄り添いながら支援させていただいています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様が入居以前に使用されていた馴染みの家具等を持ち込んで頂けるようお願いしています。殺風景にならないよう、ご家族が写真等を飾られていて、各自個性溢れる居室になっています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自室に写真や手紙が飾ってありました。本人が大切にしている人形も季節に合わせて衣替えしてくれています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	春から秋にかけては定期的に外出散歩、外出行事を行っています。日用品で欲しいものを購入するために、スーパーや衣類店へ出かけたり、食べ物でも嗜好にあった買い物支援を行っています。	会議内での意見として、感染対策を講じながら外出等楽しめたらいいとの話がありました。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	残存能力を活かしながら自立をできるだけ支援し、日々の家事や掃除等を共に行える方は行っていたけています。毎月楽しみごとの行事を取り入れながら、入居者様にも制作や調理をしていただいています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様が自由に思いを発信できるよう、日常的に良い関係でいられるよう心がけています。些細な事柄でも自己決定ができるように働きかけ、自律支援に結び付けています。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人への声掛けが優しいトーンなのが良いと思います。本人も安心していると思います。最近に入居者が協力してお菓子や料理を作ることもあり、楽しそうです。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	近隣散歩では、近隣住民と会った際にはご挨拶する程度となっていますが、地域のスーパーや店舗等の地域資源も活用しながら、地域住民や店員、お客様等と関わりを維持できるよう努めています。	買物、散歩など、外での活動は本人も楽しんでいと思っています。		
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員と日々関わり親しみが持てるよう、個々人の思いや願いを汲み取る為、日々の会話を重要視しています。地域の中でも、可能な限り関わりを保ちながら、安心して生活できるようサポートしています。	課題としては地域とのつながりがあるが、時代的に縮小傾向にあり、今できる地域への発信を行っていければよいと思います。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	様々なレクリエーションを実施していただき、いつもありがとうございます。

(参考様式4)

事業所名 ふれあいの里グループホームおびひろ緑ヶ丘

作成日： 令和 7年 1月 27日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	18	介護記録システムの活用により、職員同士での情報共有は行えていると思います。日々の記録は変化のあった時の入力は見られますが、継続的に繋がらず途絶えている事もあり今後の課題と思われます。	・共有したい内容は必ず記録入力した上で の申し送りを意識する。 ・変化を始まりから最後まで捉え、職員間で 情報共有しながら記録入力行う。	・記録した上で、夜勤者から日勤者への申し送り、 日勤者から夜勤者への申し送りを行いながら、 職員間での情報共有を密に行う。 ・記録の“起承転結”を意識し、変化が起きた時間 帯から治まった時間に至るまで、時系列でま とめて記録入力行う。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月